

平成 15 年 7 月 25 日

## 第 169 回材料学会岩石力学部門委員会 議事録

日 時：平成 15 年 7 月 25 日（金）13:30～17:00

場 所：京大会館 211 会議室

出席者：

齋藤敏明（委員長），赤井浩一，朝倉俊弘，伊東佳彦，上出定幸，打田靖夫，大津宏康，川崎了，菊地宏吉，岸田潔，北川隆，木山英郎，小林昭一，小林隆志，齋藤章，佐々宏一，笹尾春夫，島田充彦，高橋厚志，中井卓也，西村強，西山哲，長谷部宣男，畑浩二，平野勇，水戸義忠（幹事） 以上 26 名（順不同，敬称略）

資 料：

- 資料 169-1-1 : 講演概要「北海道北見地方の付加体における崩壊事例について」
- 資料 169-1-2 : 講演概要「新しい電気・電磁探査技術について」
- 資料 169-2 : 第 167 回材料学会岩石力学部門委員会議事録（案）
- 資料 169-3 : 岩の力学連合会報告
- 資料 169-4,5 : 平成 14 年度事業報告,決算および平成 15 年度事業計画,予算について
- 資料 169-6 : 非会員委員について
- 資料 169-7 : E-mail による部門委員会開催通知について
- 資料 169-8 : 第 363 回・第 364 回企画事業委員会報告
- 資料 169-9 : 日本材料学会第 53 期通常総会・学術講演会等に関する協力依頼
- 資料 169-10 : 会誌「材料」特集号発刊希望調査について
- 資料 169-11 : 東南アジア岩盤工学ワークショップへの参加のお願い

議 題：

### I. 講 演

- 1) 講演者：伊東佳彦氏（北海道開発土木研究所地質研究室）  
内 容：「北海道北見地方の付加体における崩壊事例について」
- 2) 講演者：齋藤 章氏（三井資源開発株式会社地球環境事業部）  
内 容：「新しい電気・電磁探査技術について」

### II. 議事・報告

1. 前回議事録（案）の確認  
前回議事録(案)が承認された。
2. 岩石力学部門委員会新幹事と岩石力学部門編集幹事について  
岩石力学部門委員会の新委員・新幹事として西山哲氏（京都大学大学院工学研究科）が推挙され，承認された。また，岩石力学部門編集幹事として楠見氏に替わって岸田潔

氏（京都大学大学院工学研究科）が推挙され、承認された。さらに、当部門委員会推薦の平成 15、16 年度岩の力学連合会専門幹事（2 年任期）朝倉俊弘氏が土木学会推薦の常任理事に就任したのに伴い、朝倉俊弘氏に代わって西山哲氏が専門幹事に就任することになった。

### 3. 岩の力学連合会関連報告

齋藤委員長から、平成 15 年 5 月 30 日に開催された岩の力学連合会第 25 回通常総会の報告（①平成 14 年度事業報告、②平成 14 年度収支決算報告、③規約の一部改正、④基金の運用、⑤平成 15 年度事業計画、⑥平成 15 年度収支予算、⑦平成 15、16 年度役員選任）があった。このうち、③規約の一部改正については、常任理事会が設置されたことが主な改正点である。④基金の運用については、現基金 27,903,982 円のうち、10,000,000 円を基本財産、17,903,982 円を運用財産（国際会議主催準備金 7,903,982 円および創造的提案推進事業基金 10,000,000 円）として活用することになった。⑤平成 15 年度事業計画の中では、「Rock Net」ワーキンググループの運営、3rdARMS の運営、電子ジャーナル創生委員会の発足などが新たな内容である。⑦平成 15、16 年度役員については、大西有三氏（京都大学大学院工学研究科）が理事長に就任した。

### 4. 平成 15 年度事業計画および予算について

当部門委員会の平成 15 年度事業計画書案および予算書が承認された。

### 5. 非会員委員について

前回、非会員委員の方に対して 3 つの選択肢（①材料学会に入会する、②資料費+3000 円で委員継続、③委員会退会）による問い合わせを行ったが、無回答の 16 名の非会員委員に対して、もう一度封書で意思を確認させていただいたところ、5 名の委員から回答（①材料学会に入会が 1 名、②資料費+3000 円で委員継続が 2 名、③委員会退会が 2 名）があった。一方、ご回答をいただけなかった 11 名の委員にはご退会いただくこととなった。これらの結果を踏まえて、新たな委員会名簿を作成して配布することとなった。

### 7. 岩石力学部門委員会開催の通知方法について

郵送によって当委員会の開催を通知している委員に対して、「E-mail による部門委員会開催通知について」（資料 169-7）という案内文を送付したところ、3 名の委員から E-mail に変更するように返答があった。今後も時機をみて、このような案内を継続して送付することになった。

### 8. 第 363 回・第 364 回企画事業委員会報告

朝倉企画事業委員会委員より第 363 回・第 364 回企画事業委員会の報告があった。

### 9. 日本材料学会第 53 期通常総会・学術講演会・各種併設事項に関する協力依頼

日本材料学会企画事業委員会からの日本材料学会第 53 期通常総会・学術講演会・各種併設事項に関する協力依頼の内容が説明された。当部門委員会では今回は企画を見送ることにした。

### 10. 会誌材料「談話室」と「大特集」について

編集委員会からの会誌「材料」談話室への投稿依頼に対して、「メタンハイドレート」に関連する話題を松岡委員に執筆していただくことになった。また、特集号発刊希望調査について平成18年5月号（第1希望：第2希望以下は平成18年6月号，7月号，8月号の順）に大特集を申し込んだことを確認した。

11. 東南アジア岩盤工学ワークショップについて

東南アジア岩盤工学ワークショップについて当部門委員会に後援依頼があり，依頼を承諾することとした。

12. 新委員の推薦について

当部門委員会の新委員として，鈴木哲也氏（住友金属鉱山（株）資源事業部技術部），小林隆志氏（東電設計（株）第一土木本部地質技術部）の2氏が推薦され，承認された。

13. 岩石力学部門委員会懇親会について

当部門委員会終了後に行われている懇親会は，当部門委員会委員間の情報交換において極めて重要な役割を果たしているが，委員の個人負担も大きくなっているのが現状である。そこで，部門委員会がときに会場費相当分などを負担し，委員の個人負担をできるだけ軽減するようにしたい旨提言があり，了承された。

14. その他

- 1) 次回委員会（見学会）の日時・場所については，齋藤委員長に一任することとした。
- 2) 委員会終了後の懇親会の案内がなされた。

以 上